

タイトル

噴火災害を語り継ぐメモリアルデー

今から30年前、雲仙普賢岳の災害は、旧深江町と島原市をはじめ、島原半島に甚大な被害をもたらしました。9月15日には、当時の大野木場小学校の校舎・体育館を火砕流によって焼失しました。

大野木場小学校では、毎年9月15日をメモリアルデーとして、噴火災害の記憶を語り継ぐとともに、自然災害に対する防災意識を高める機会としてきました。

今年度も下記のとおり、メモリアルデーを開催します。

なお、今年度は被災から30年という節目の年のため、例年より30分程度拡大して実施します。

記

日時:9月15日(水) 午後1時45分~3時30分

場所:大野木場小学校 体育館

参加者:大野木場小学校 児童104名、教職員、保護者、来賓

内容:5年生と6年生の災害学習の発表

災害体験者の講話

「生きていたんだね」作詞作曲者の寺井一通さんのお話

全校児童による群読と歌

備考:実施計画添付

担当部署	大野木場小学校	担当者	山外 誉
直通	0957-73-6713	E mail	ohnokoba-es@minami-shimabara.jp
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	大野木場小学校
担当者 連絡先	0957-73-6713		

大野木場メモリアルデー2021 実施計画

1. 趣 旨

雲仙・普賢岳の災害は、旧島原市・深江町をはじめ、島原地方全体に甚大な被害をもたらした。安全・安心な町づくりを進める中で、旧大野木場小学校の校舎・体育館等が火砕流により焼失した9月15日をメモリアルデーとし、これまでの学習の成果の発表の機会とするとともに、メモリアル集会を通して、噴火災害の記憶を後世に伝える。また、砂防事業の重要性や防災に対する意識を高める機会とする。

2. 期 日

令和3年9月15日（水） 13:45～15:30

3. 場 所

南島原市立大野木場小学校 体育館

4. 日程及び内容

メモリアルデー2021		司 会・・・企画・運営委員会児童2名
13:45～13:46	はじめの言葉（司会の児童）	
13:46～13:49	校長挨拶	
13:50～14:05	5年生の発表（15分程度）	
14:05～14:20	6年生の発表（15分程度）	
14:20～14:45	講話 高柳忠昭先生と土手野和広先生（当時の先生）	
14:45～14:55	休憩	
14:55～15:10	講話 寺井一通さん （「生きていたんだね」についてのお話）	
15:15～15:25	詩の群読・歌「生きていたんだね」全校合唱	
15:26～15:30	お礼・終わりの言葉（司会の児童）	